

2017年8月1日  
一般社団法人 MAKOTO

## 日本初、再チャレンジに特化した投資ファンド「福活ファンド」

### ～投資実行のお知らせ～

一般社団法人 MAKOTO（本社：宮城県仙台市、代表理事 竹井智宏、以下「MAKOTO」）が管理運営する「福活ファンド投資事業有限責任組合」は、新たに3社に投資実行いたしましたのでお知らせいたします。今回の投資先である3社の経営者は、倒産と自己破産を乗り越え再起を果たした不屈の起業家です。今後の事業成長に向けて、私たちは共に伴走し経営を支援して参ります。

#### ■投資実行内容について

投資先企業および投資金額については以下の通りです。

|  |             |
|--|-------------|
| 株式会社 ZIG（本社：神奈川県川崎市 代表取締役 小泉 拓学）       | 投資額：3000 万円 |
| 株式会社スイッチスマイル（本社：東京都港区 代表取締役 CEO 長橋 大蔵） | 投資額：4000 万円 |
| 株式会社ドリームプロトコル（本社：福島県郡山市 代表取締役 黒澤 伴次）   | 投資額：4300 万円 |

#### ■投資先企業について

##### <株式会社 ZIG>

代表取締役の小泉氏は、2003年に宮城県でモバイル・コンテンツの開発会社を創業。モバイル向けカードゲームの先駆けとなる「モバイルウォーズ」をリリースし、大手各社の SNS(ソーシャル・ネットワークング・サービス)に採用された実績を持つ。その後、大手の参入や東日本大震災等の影響を受け倒産。その後、インターネットメディアのキュレーターとして活動を開始。最初のサービスであるキュレーションメディア「ZIGNOTE.」を開発し、株式会社 ZIG を設立。リリースから6ヶ月で1000万PVを達成。その後、twitter から Instagram にターゲットをシフトし自社メディア「Insty(インスティー)」を立ち上げた。資金調達により運営体制の強化を図り、成長市場である SNS 向けインフィード広告を軸に事業を展開していく。また、独自の企画力、コンテンツ制作ノウハウを活かし、BtoB 向けにメディアプランニングやコンテンツ企画・提供を行ない、ネットユーザのニーズをいち早く掴み「人気を集める」という小泉氏の強みを活かした新しいメディア開発に取り組んでいる。

小泉氏は自身も東日本大震災を経験し、会社の継続や従業員のサポートに奔走した体験から、福島県および東北地域の復興・創生には強い想いを抱いている。福島県への移転後は、積極的に若手人材の採用や育成を行い、地方でも最先端の分野の仕事ができる機会を創出していきたいと考えている。

会社名：株式会社 ZIG

代表者：小泉 拓学

設立：2014年2月3日

所在地：神奈川県川崎市

事業内容：インターネット向けメディア事業、メディアプランニング事業、コンテンツ制作事業

## <株式会社スイッチスマイル>

代表取締役の長橋氏は、阪神淡路大震災をきっかけに地元の神戸市で IT 系開発会社を起業。順調に業績を伸ばし IPO を目指すもリーマンショックの影響等を受け 2008 年に倒産。その後、再起を図り 2010 年に株式会社スイッチスマイルを設立。受託事業からスタートし、「ヒト/デバイス・場所・モノ/情報をつなぎ、空間に新しいバリューを付加する」というコンセプトのもと、昨年度より IoT プラットフォーム事業を開始。第一弾として、Beacon を使った位置情報の活用によりマーケティングを支援するプラットフォームをリリースした。今回の資金調達により Beacon 端末を無償配布し、広告配信事業をスタートする。看板やチラシ等の近接マーケティング市場における広告費は約 2.2 兆円といわれており、Beacon を使った広告配信は、近接マーケティングのデジタル化手法として注目されている。よりターゲットングされた情報や広告配信により、店舗等の施設へのダイレクトな誘引も可能である。大手 AD ネットワークとも連携しスポンサー企業の獲得を行っていく。

阪神淡路大震災で人生観が変わったという長橋氏は、自身が震災後の神戸で起業し、約 150 名の会社に成長させた経営経験を強みとし、福島県でも IT 人材の採用や育成を積極的に行っていく。福島県で IT 分野では初の IPO を目指し、福島県の創生に貢献したいと考えている

会社名：株式会社スイッチスマイル

代表者：長橋 大蔵

設立：2010 年 7 月 10 日

所在地：東京都港区

事業内容：IoT コンサルティング、Beacon プラットフォーム事業、LINE BOT プラットフォーム事業

## <株式会社ドリームプロトコル>

代表取締役の黒澤氏は、2001 年に通信系機器を扱う運送会社を創業。自動車メーカーと GPS 配送システムを共同開発するなど、先進的な取り組みを多く行っていたが、主要取引先の不振の影響を受け倒産。前会社の倒産後、知人の紹介で故障した中古コピー機を 3,000 円で仕入れ、修理して転売したことをきっかけに中古複写機の事業化を決意。類似業界で働きながらノウハウを学び、個人事業として事業をスタートした。その後、2013 年にオアシス株式会社として法人化するが、資金調達の面から創業パートナーに代表権を引き継ぎ、取締役として事業拡大に取り組んできた。複写機に加え中古 OA 機器の取り扱いや、メンテナンスに高度な技術力が必要であるキュービクルの再生にも着手し、ラインナップの拡充を図ってきた。今回の資金調達により、黒澤氏を代表とする新会社を福島県に設立し、国内展開だけでなく成長が見込まれる新興国等の海外市場への販売も強化していく。

黒澤氏は、東日本大震災後から間もない頃に、大手では対応が難しかった福島県の被災エリアに中古複写機の配送・納品を行い、事業再開のサポートをした経験を持つ。首都圏から近くテナントなどのコストが安いという福島県の地域特性や真摯な県民性を活かしたメンテナンス・サポート体制を構築し、競争力のある中古機器の販売事業を育てていきたいと考えている。

会社名：株式会社ドリームプロトコル

代表者：黒澤 伴次

設立：2017 年 6 月 30 日

所在地：千葉県山武市

事業内容：中古複合機の再生・販売事業

## ■福活ファンドについて

「福活ファンド」は、MAKOTO と株式会社福島銀行（本社：福島県福島市、取締役社長 森川英治、以下、「福島銀行」）により設立した「倒産等の経験を持つ起業家の再チャレンジ支援」に特化したファンドです。

日本は、一度でも会社経営に失敗すると再チャレンジがしにくい社会だと言われています。多くの経営者が失敗からの再チャレンジの機会を得られず全国で埋没しています。失敗経験を持つ経営者を見捨ててしまっは、日本全体として貴重な人材を使い捨てていることになります。そして、その貴重な人材資源を何よりも求めているのが、福島県です。私たちは、福島県のみならず、全国からも失敗経験のある起業家を招き入れ、起業家が何度でも復活できる環境を創ることを目指しています。



### 福活ファンド 概要

通称：福活（ふっかつ）ファンド

URL：<http://rechallenge-fund.com>

組合名称：福活ファンド投資事業有限責任組合

出資総額：10億円（1件あたり最大1億円投資を想定）

有限責任組合員(LP)：株式会社福島銀行

無限責任組合員(GP)：一般社団法人 MAKOTO

投資決定・業務執行：GPが行う

- 特徴： ①日本初、再チャレンジに特化した投資ファンド  
②福島県に全国から起業家人材を呼び込み、福島創生を加速させる

### 一般社団法人 MAKOTO 概要

一般社団法人 MAKOTO は、東北地方の起業家・経営者を支援し、「志」の求心力をベースにした事業創造を行う起業家支援団体です。（1）起業家に対するハンズオン(伴走型)の経営支援、（2）ファンド投資による資金調達支援、（3）創業支援や起業家・企業誘致地域による地方創生支援などを行い、起業家や中小企業の経営者をサポートしています。

■会社名：一般社団法人 MAKOTO

■代表者：代表理事 竹井智宏

■設立：2011年7月25日

■所在地：宮城県仙台市宮城野区榴岡 5-12-55 NAViS ビル 5階

■URL：<http://www.mkto.org/>

■事業内容：起業環境整備事業、ファンド事業、地方創生事業

以上

お問い合わせ先：一般社団法人 MAKOTO

担当：下里、川上

TEL：022-352-8850

FAX：050-3383-4039

Mail：[info@mkto.org](mailto:info@mkto.org)